ラオスにおける SRI定着条件調査（計画）

2011/07/28

飽津博史

（農村空間研究所・研究員）

SRI取組み状況

（プロネット21　島崎一幸氏による）

年	機関等	取　　組　　み
2001	Oxfam_Australia	試験栽培　2戸
2001-02	国立農林研究所	試験栽培　全国5か所、乾季作、雨季作
2006-10	かんがい局	NCMIプロジェクト　ADB資金、プロネット21支援 31地区　976戸　332ha　(09-10乾季作)
2007-10	プロネット21	北部地区SRI導入プロジェクト　JICA草の根 7地区　420戸　141ha　(09-10乾季作)
2008	農林省	SRI普及促進を指示
20010-13	プロネット21	ルアンパバン県SRI普及プロジェクトJICA草の根 19地区　543戸　306ha　(10-11乾季作)
その他	JVC、ADRA	小規模に実施中

ベトナム
ルアンパバン県
ビエンチャン都
タ イ

SRI取組み成果

- 農林研究所栽培試験（2001-02)

  結論 「SRIが普及する可能性は非常に低い」

  ・計画的に水管理ができる基盤が未整備

  ・肥料を多投入できる状況ではない

  ・有機質資材を多投入することは困難

- かんがい局及びプロネット21（2006-10)

  ・北部県を中心にSRIの効果を実証

  ・全国1万1千戸3,600haに拡大　(09-10乾季)

- 国の施策として促進を決定(2008)

SRI取組の問題点

- 取組みが継続しない
  - 技術が変形し、効果が減少
  - 除草の手間、害虫による食害で断念
  - 間断かんがいに躊躇
  - 経済性への不安から他作目への転換
- 新規取組み農家は、効果に半信半疑
- 普及技術者の不足(質・量)
- きちんとしたデータが乏しい、情報共有が不足
- 圃場基盤の未整備
  - 土壌基盤(代掻き、均平)
  - かんがい排水基盤、とくに排水路

SRI応用による
雨季作水稲の生産安定の可能性

- 雨季作生産安定の課題
  - ・コメ生産の8割
  - ・かんがい排水施設は2割弱、ほとんどが天水田
  - ・最大の不安定要因は雨季前半の干ばつ
  - ・水管理、とくに排水の管理

- SRIの応用による安定の可能性

  耐干ばつ、節水栽培、病虫害低減、湛水被害軽減

SRI定着の課題

- SRI導入技術指針の整備
  SRI技術の基本データの整備と地域特性に応じた適用条件を明らかにする
- SRI導入営農指針の整備
  導入の経済効果及び営農面からの導入条件を明らかにする。
  導入にあたってのグループ化及びリーダーの役割を明らかにする
- 情報共有の促進
  良い事例及び悪い事例を含めた既往取組の情報化と評価
- 人材の育成
- 圃場基盤の改善
  土壌管理及び間断かんがいの効果を実証し、整備手法の提示

調査概要

- 目的:　SRI栽培試験及び実践事例評価を通じて、SRIの定着・普及拡大の技術的及び農業経営的根拠を明らかにする
- 実施方法:　ラオス国立大学との共同調査
- 実施期間:　2011年9月～2014年8月(予定)
- 協力機関等:　ラオス国立農林研究所、農林省かんがい局、農村空間研究所
- 連携プロジェクト:JICA草の根支援

  ルアンパバン県SRI普及プロジェクト（2010~2013)

SRI定着条件調査

１．栽培試験

１）SRI基本要素比較試験

２）土壌管理条件整備効果試験

３）間断かんがい効果試験

４）既往実践事例調査

２．圃場基盤整備手法調査

農民参加型手法による圃場基盤整備手法の試行と検討

３．導入効果調査

経済効果、実践事例評価、導入条件調査

栽　培　試　験

1.SRI基本要素比較試験　（小区画）

苗齢、植付本数、間隔、施肥

2.土壌条件整備効果試験（実圃場規模）

慣行区、慣行区(整備)、SRI(非)、SRI(整備)

3.間断かんがい効果試験(実圃場規模）

慣行区、慣行区(間断)、SRI(非)、SRI(間断)

4.既往実践事例調査

実施状況(技術、成績)、工夫、失敗原因

5. 除草対策、タニシ食害対策

圃場基盤整備手法調査

- 営農規模で取り組めなければ普及拡大及び持続性は望めない。農民自らで実施可能な整備手法の試行と検討

- 対象工種
  - ・代掻き、均平度の向上、田内排水溝の設置
  - ・かけ流し排水
  - ・水配分管理

- 技術指導
  北海道旭川市の引退農業者を予定

導入効果調査

1.経済効果

試験圃場及びSRI普及プロジェクト対象農家

労働力、経営収支、経済余剰の活用

2.導入条件

既存実践事例の評価を含めた導入の条件

3.推進農家グループ体制

グループの効果、リーダーの役割、促進方策

調査の目標

- ルアンパバン県SRI普及プロジェクトによる
  SRI導入技術マニュアル作成に対する技術支援
- SRI導入経営指針の作成
- SRI情報共有・提供支援
- 農民参加型小規模圃場基盤手法指針
- 人材育成支援
- 技術展示

ご静聴ありがとうございました